

事業番号	11 05 02	事業改善シート(25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	河川一般管理費			担当課	部局	建設部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	河川課		
	施策の総合的展開	4-1 地域防災力の向上 4 災害に強い地域づくり		E-mail	kasen@pref.nagano.lg.jp		
				実施期間	M29 ~		

1 事業の概要

目指す姿	○河川巡視員等の配置により、河道及び河川管理施設の異常、不法占用、不法投棄物の早期発見及び是正により適切な河川管理を行う。 ○傷害保険加入により河川愛護および河川モニター活動環境の充実化を図り、持続的な活動及び広がりを支援する。 ○岩石採取及び砂利採取に伴う災害の防止を目的とした講習会、現場指導を実施し、災害防止に向けた取り組みを促進する。 ○河川の付け替え等により生じた廃川敷地の売払いや交換を計画的に進めることにより、河川敷地の適正な管理を行う。		
------	---	--	--

現状	○河川敷地の不法投棄は減少しているものの、近年の河川パトロールにおける廃棄物の回収量は10t前後で横ばい状況にある。 ○愛護活動者の高齢化が進んでいるほか、近年の活動人数は横ばい状況にある。 ○廃川敷地の測量及び鑑定を実施して、計画的に廃川処理を行っている。		
----	---	--	--

県が関与する理由	県関与の必要性あり 県民との協働による実施：可能	【左記の説明、根拠法令等】 河川法、砂利採取法、採石法、長野県水環境保全条例
----------	-----------------------------	---

事業内容	① 成果目標(H25)		
	○河川巡視(外勤)実施日数 1,730日/年(延べ日数) ○河川愛護活動人員 18万4千人/年(延べ人数) ○廃川測量面積 15,000㎡		

事業内容	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H25事業実績	H25		H26
				(当初)	(決算)	(当初)
	1. 河川巡視員設置	直接	河川巡視員配置(延べ配置日数:2,160日/年)	16,148	15,451	16,701
	2. 河川愛護活動支援事業	直接	活動者の傷害保険の加入 愛護団体標識の設置	1,144	901	1,204
	3. 河川モニター設置	直接	モニター活動者の傷害保険の加入	59	59	59
	4. 採石、砂利採取災害防止講習会等	直接	採石、砂利採取災害防止講習会、岩石採取場災害防止技術指導、職員現場講習会	461	260	445
	5. 河川名標識設置	直接	河川区域境界杭設置、河川起点杭設置、河川名標識設置、河川注意標識設置	542	453	532
	6. 廃川敷地不動産鑑定等	直接	廃川敷地測量 廃川敷地不動産鑑定	5,300	2,603	5,032
	7. 河川占用台帳電算処理	委託	河川占用許可台帳システム開発業務委託 許可台帳電算パンチ委託	11,743	6,040	894
			合計	35,397	25,767	24,867

事業コスト	区分(単位:千円)		23年度	24年度	25年度	26年度
	予算額	前年度繰越	0	0	0	0
		当初予算	48,297	64,033	35,397	24,867
		補正予算	92,603	28,365	0	0
		合計(A)	140,900	92,398	35,397	24,867
	Aの財源	国庫支出金	0	0	0	0
		県債	0	0	0	0
		その他(使用料等)	140,900	92,398	35,397	24,867
		一般財源	0	0	0	0
	決算額(B)	133,681	90,576	25,767		
概算人件費	職員数(人)	1.27	0.85	0.26	0.29	
	概算人件費(C)	10,488	7,019	2,147	2,395	
概算事業費(B)+C)	144,169	97,595	27,914	27,262		

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
巡視実施日数(巡視実施率)	1,690日(78%)	1,730日(80%)	1,799(83%)	達成	1,730日(80%)
愛護活動人員	17.7万人	17.7万人	16.6万人	未達成	16.6万人
廃川測量面積	4,037㎡	15,000㎡	7,920㎡	未達成	-

目標に対する成果の状況	・河川愛護活動団体数は現状維持(H26:910団体)されており、河川清掃や河川パトロールの実施、河川愛護思想の普及等、継続した活動が図られているが、活動人数については、昨年と比較して約1万人ほど減少した。その要因として、活動参加者の高齢化が考えられる。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 住民との協働による河川の維持管理を推進するため、平成26年度以降も河川愛護活動の支援を継続する。また、平成25年度から新たな活動支援として導入した「わがまちの川」美化事業も引き続き実施し、作業しやすい環境づくりを進めることにより将来にわたって河川愛護活動が持続するよう、県としての取組を推進する。 また、その他についても、適正に河川管理を実施できるよう取り組む。
--------------------	---